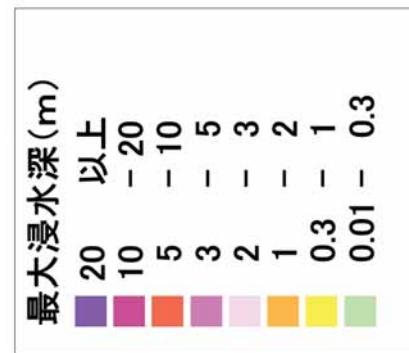
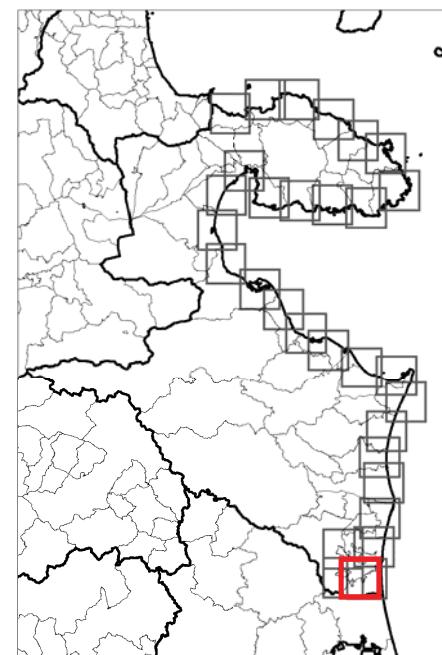


安政東海型地震 最大浸水深図 (m) 1 湖西市



【留意事項】

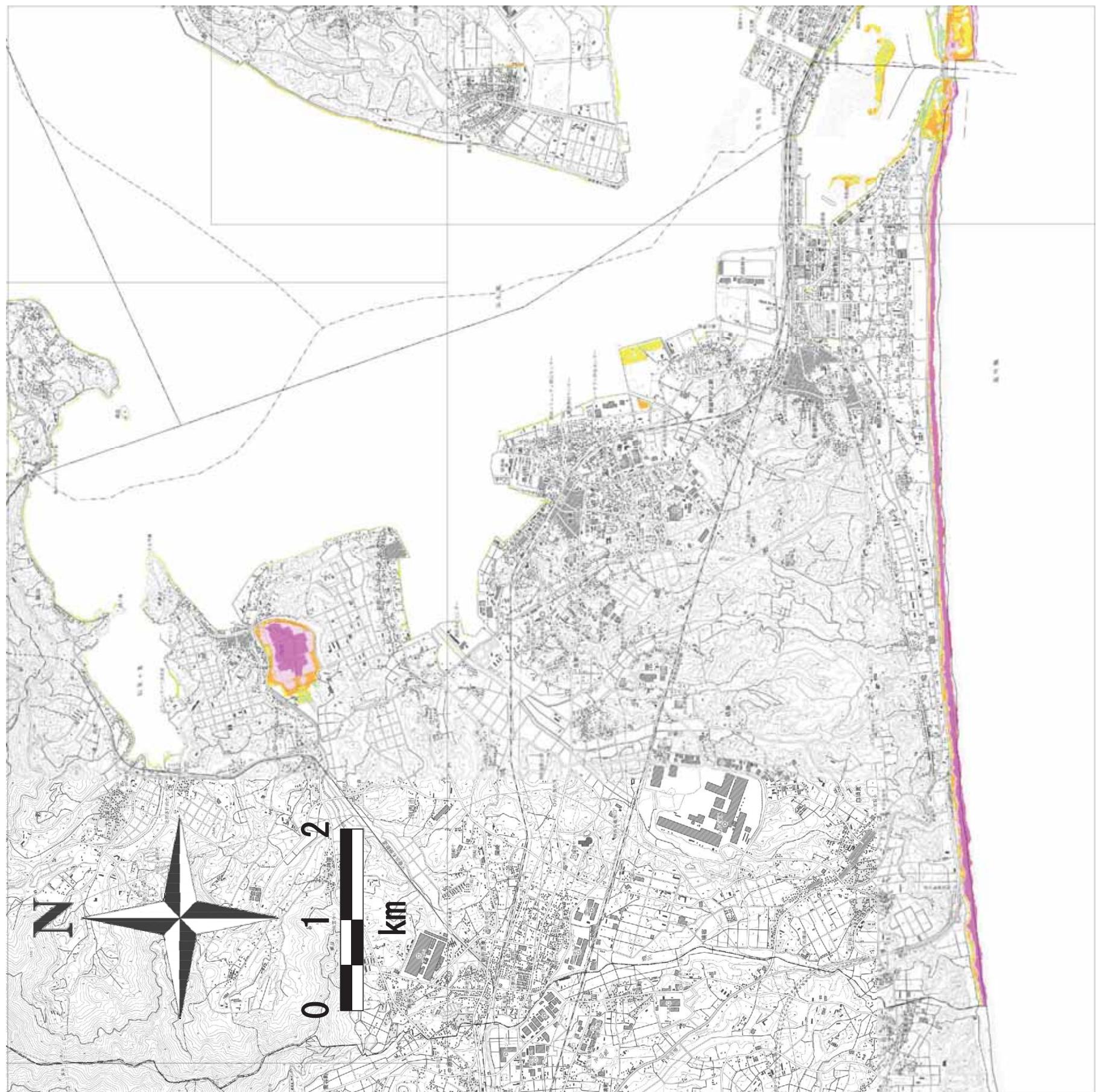
- 本資料は、レベル1の津波が次のような条件下において発生したと仮定した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したもののです。
- ・コンクリート製の海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により破壊されるという仮定をしています。
- ・土で築造された海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動によりさが元の高さの25%まで沈下し、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。
- ・上記以外の海岸堤防や河川堤防においても、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。

※上記の仮定条件は、今後の防災・減災対策を検討する上での事態を想定しておく必要があるために設定したものであり、実際の地震において堤防が全て壊れたり、津波が乗り越えることによって破壊されるということではありません。今後、県では、堤防の耐震化や液状化対策とともに、仮に津波が乗り越えたとしても粘り強く効果を発揮する構造への改良を進めていきます。

○過去の地震津波においては、本資料で示した浸水域より内陸部まで津波が到達している記録が残っている場所もあり、本資料で浸水しないとされた地域においても津波の危険性が全く無いということではありません。

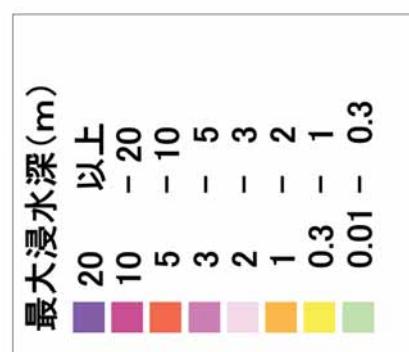
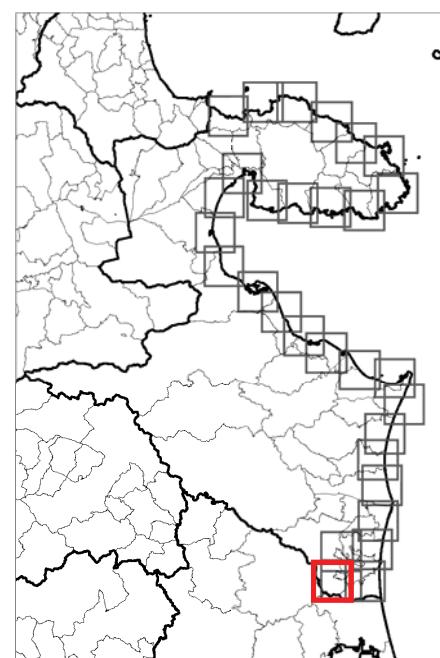
○本資料に示される浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○浸水域や浸水深は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。」（承認番号 平24情使、第244-GISMAP31012号）

安政東海型地震 最大浸水深図 (m) 2 浜松市北区・西区



【留意事項】

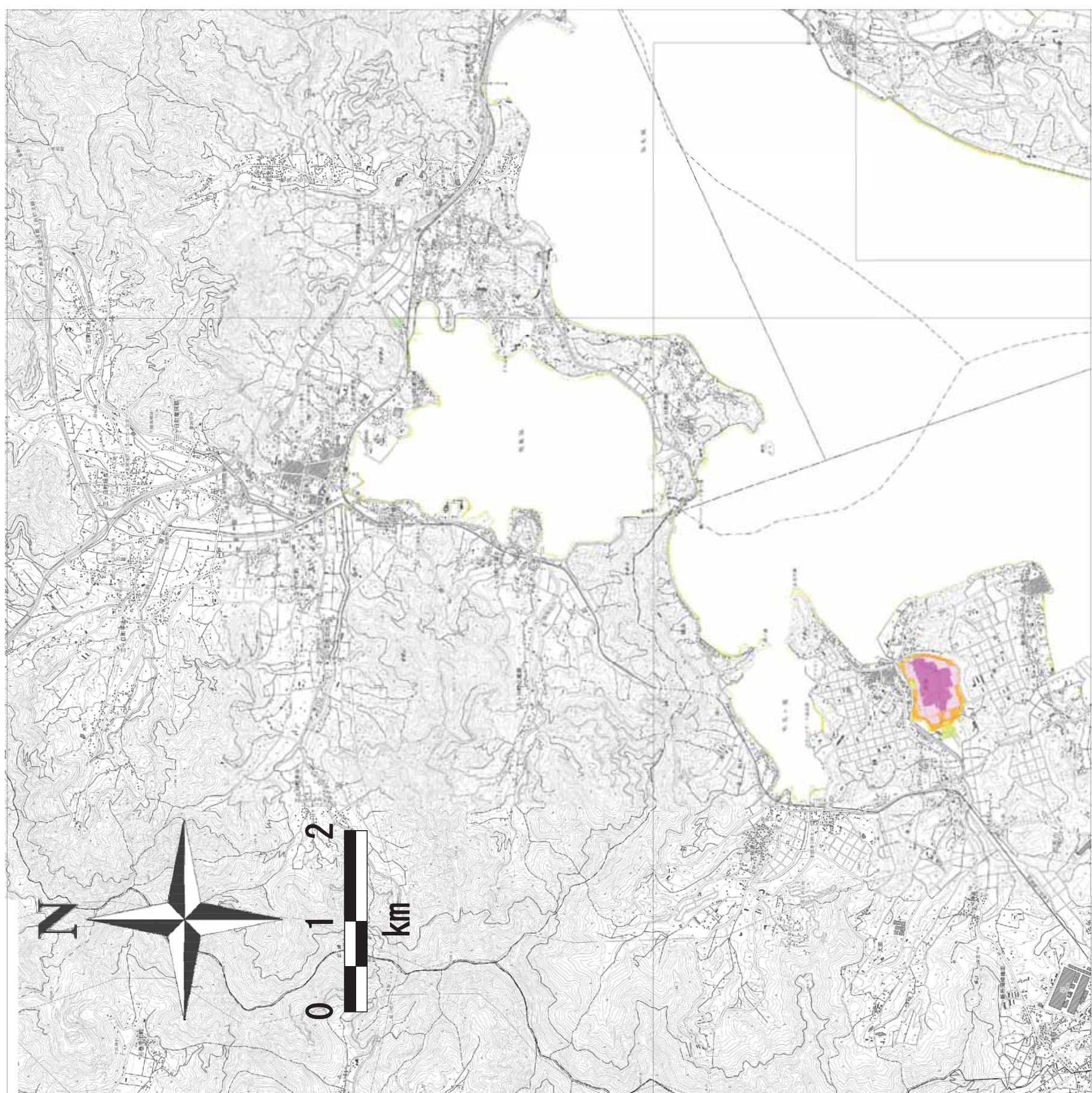
- 本資料は、レベル1の津波が次のような条件下において発生したと仮定した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したもののです。
- ・コンクリート製の海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により破壊されるという仮定をしています。
- ・土で築造された海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により高さが元の高さの25%まで沈下し、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。
- ・上記以外の海岸堤防や河川堤防においても、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。

※上記の仮定条件は、今後の防災・減災対策を検討する上で事態を想定していく必要があります。今後、県では、堤防が乗り越えることによって破壊されるとということではありません。今後、県では、堤防の耐震化や液状化対策とともに、仮に津波が乗り越えたとしても粘り強く効果を発揮する構造への改良を進めていきます。

○過去の地震津波においては、本資料で示した浸水域より内陸部まで津波が到達している記録が残っている場所もあり、本資料で浸水しないとした地域においても津波の危険性が全く無いということではありません。

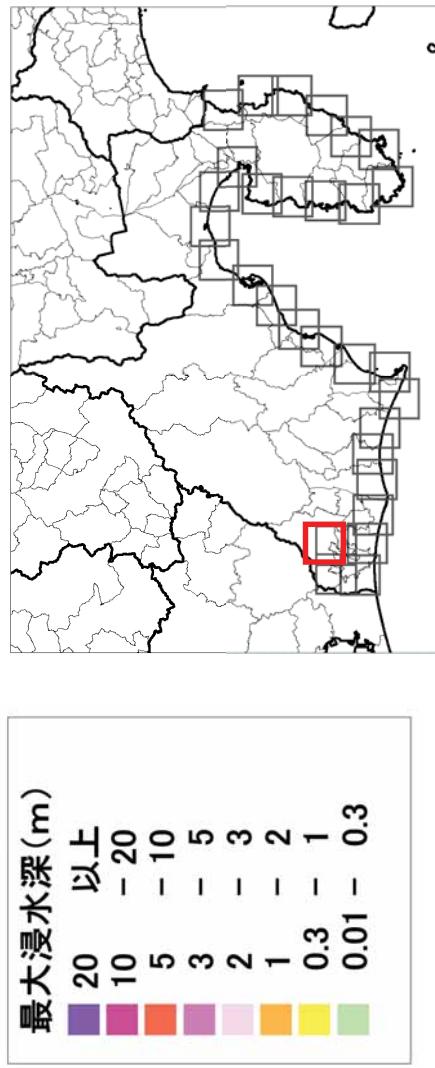
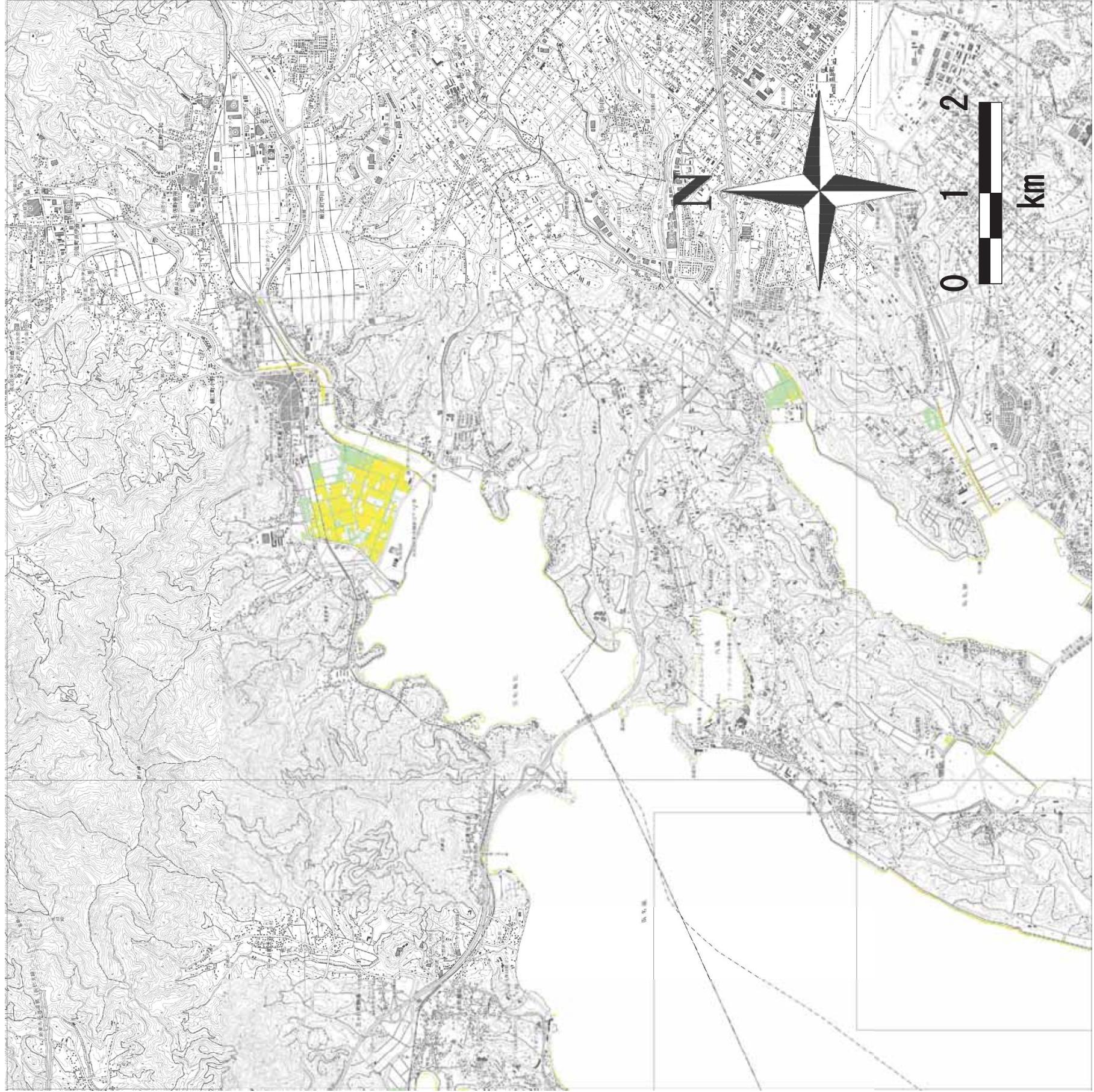
○本資料に示される浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○浸水域や浸水深は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。」（承認番号 平24情使、第244-GISMAP31012号）

安政東海型地震 最大浸水深図 (m) 3 浜松市北区・西区



【留意事項】

- 本資料は、レベル1の津波が次のような条件下において発生したと仮定した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したもののです。
- ・コンクリート製の海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により破壊されるという仮定をしています。
- ・土で築造された海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により高さが元の高さの25%まで沈下し、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。
- ・上記以外の海岸堤防や河川堤防においても、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。

※上記の仮定条件は、今後の防災・減災対策を検討する上で事態を想定しておく必要があるために設定したものであり、実際の地震において堤防が全て壊れたり、津波が乗り越えることによって破壊されるということではありません。今後、県では、堤防の耐震化や液状化対策とともに、仮に津波が乗り越えたとしても粘り強く効果を発揮する構造への改良を進めています。

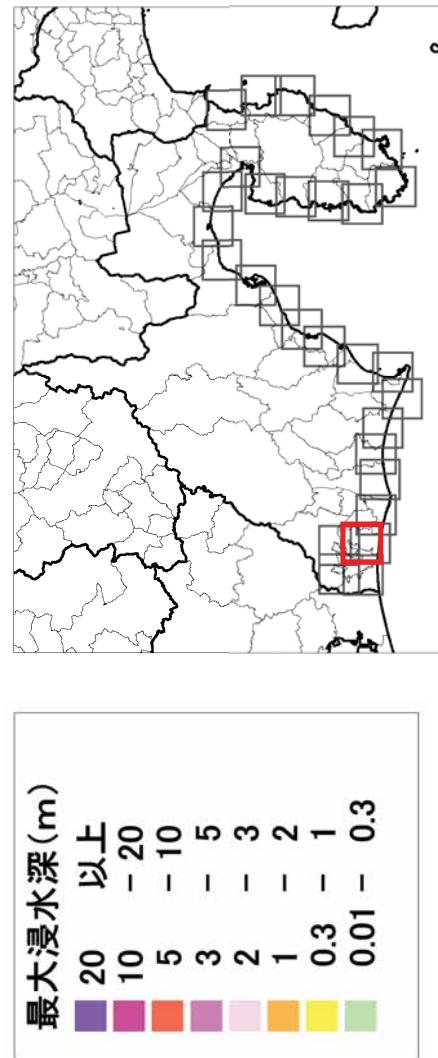
○過去の地震津波においては、本資料で示した浸水域より内陸部まで津波が到達している記録が残っている場所もあり、本資料で浸水しないとした地域においても津波の危険性が全く無いということではありません。

○本資料に示される浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○浸水域や浸水深は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。」（承認番号 平24情使、第244-GISMAP31012号）

安政東海型地震 最大浸水深図 (m) 4 浜松市西区



【留意事項】

- 本資料は、レベル1の津波が次のような条件下において発生したと仮定した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したもののです。
- ・コンクリート製の海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により破壊されるとという仮定をしています。
- ・土で築造された海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により高さが元の高さの25%まで沈下し、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。
- ・上記以外の海岸堤防や河川堤防においても、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。

※上記の仮定条件は、今後の防災・減災対策を検討する上で事態を想定していく必要があります。今後、堤防が全て壊れたり、津波が乗り越えることによって破壊されるということではありません。今後、県では、堤防の耐震化や液状化対策とともに、仮に津波が乗り越えたとしても粘り強く効果を発揮する構造への改良を進めていきます。

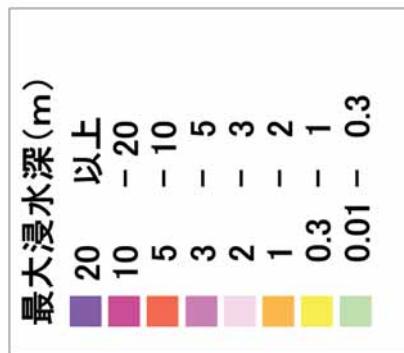
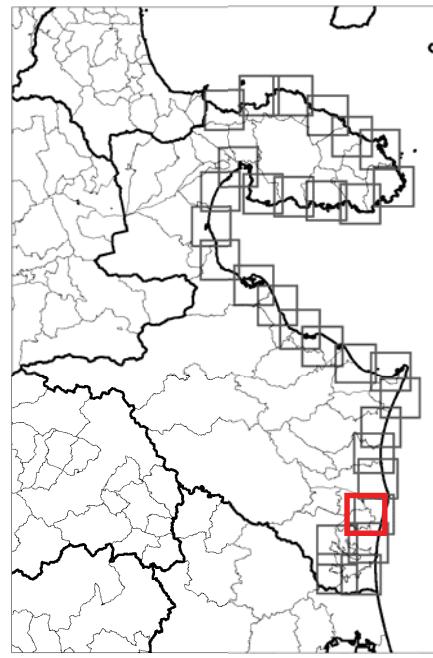
○過去の地震津波においては、本資料で示した浸水域より内陸部まで津波が到達している記録が残っている場所もあり、本資料で浸水しないとした地域においても津波の危険性が全く無いということではありません。

○本資料に示される浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○浸水域や浸水深は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。」（承認番号 平24情使、第244-GISMAP31012号）

安政東海型地震 最大浸水深図 (m) 5 浜松市南区

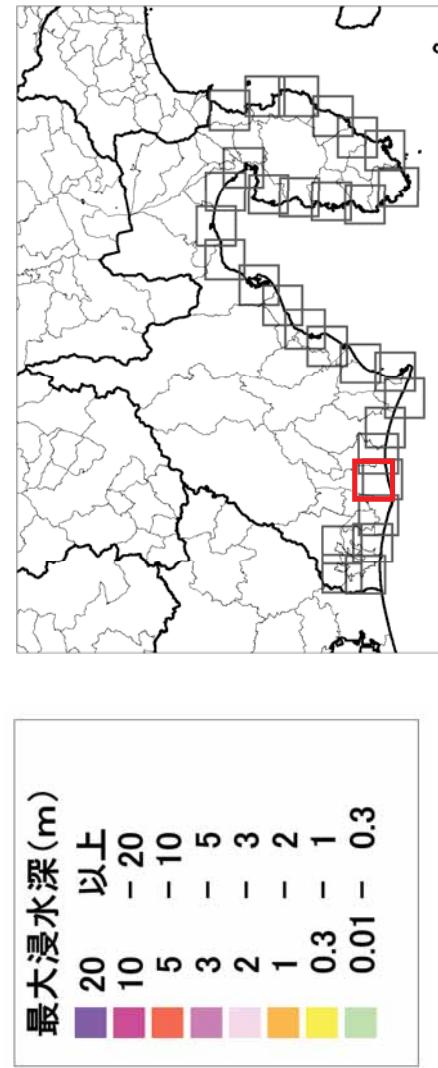
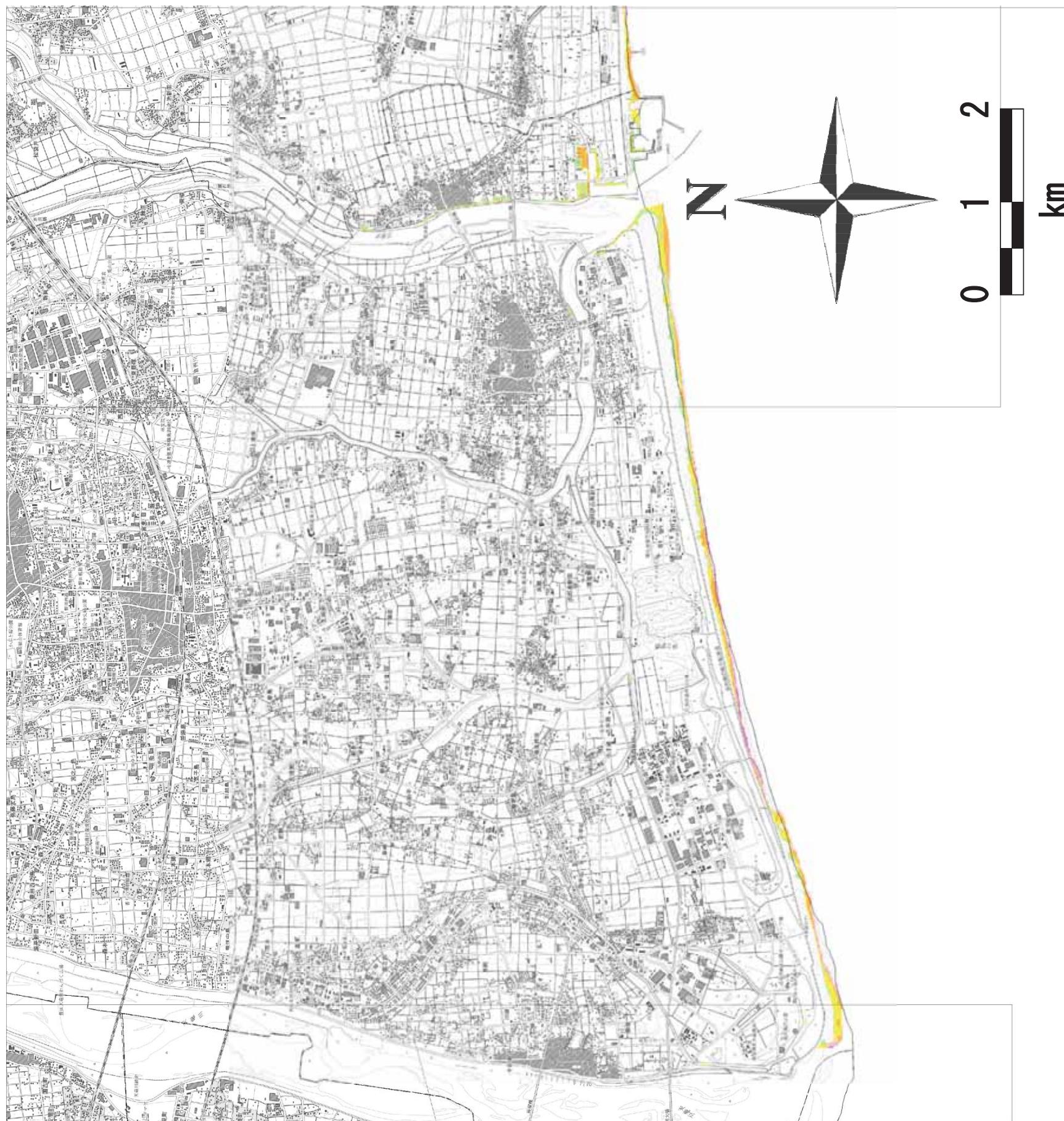


【留意事項】

- 本資料は、レベル1の津波が次のような条件下において発生したと仮定した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したもののです。
- ・コンクリート製の海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により破壊されるという仮定をしています。
- ・土で築造された海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により高さが元の高さの25%まで沈下し、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。
- ・上記以外の海岸堤防や河川堤防においても、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。
- ※上記の仮定条件は、今後の防災・減災対策を検討する上で事態を想定していく必要があります。今後、県では、堤防の耐震化や液状化対策とともに、仮に津波が乗り越えたとしても粘り強く効果を発揮する構造への改良を進めています。
- 過去の地震津波においては、本資料で示した浸水域より内陸部まで津波が到達している記録が残っている場所もあり、本資料で浸水しないとした地域においても津波の危険性が全く無いということではありません。
- 本資料に示される浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 浸水域や浸水深は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。」（承認番号 平24情使、第244-GISMAP31012号）

安政東海型地震 最大浸水深図 (m) 6 肇田市



【留意事項】

- 本資料は、レベル1の津波が次のような条件下において発生したと仮定した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したもののです。
- ・コンクリート製の海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により破壊されるとという仮定をしています。
- ・土で築造された海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により高さが元の高さの25%まで沈下し、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。
- ・上記以外の海岸堤防や河川堤防においても、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。

※上記の仮定条件は、今後の防災・減災対策を検討する上で事態を想定しておく必要があるために設定したものであり、実際の地震において堤防が全て壊れたり、津波が乗り越えることによって破壊されるということではありません。今後、県では、堤防の耐震化や液状化対策とともに、仮に津波が乗り越えたとしても粘り強く効果を発揮する構造への改良を進めていきます。

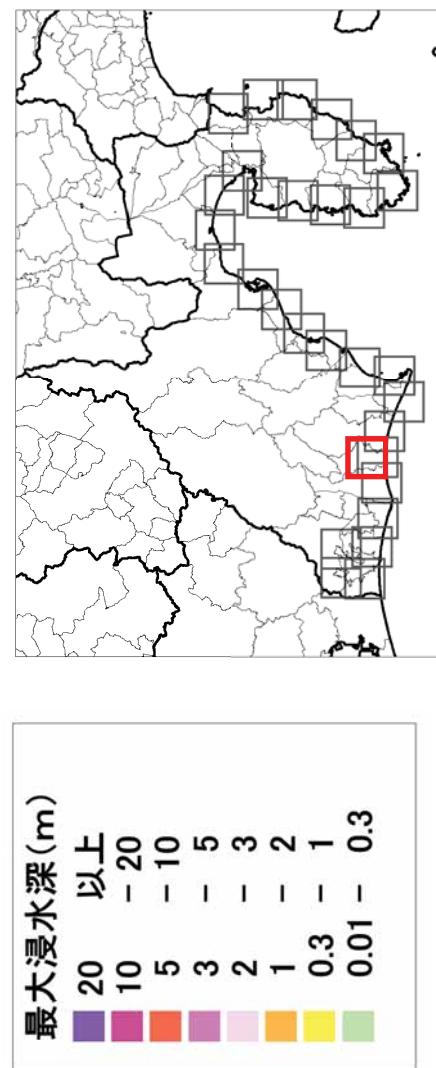
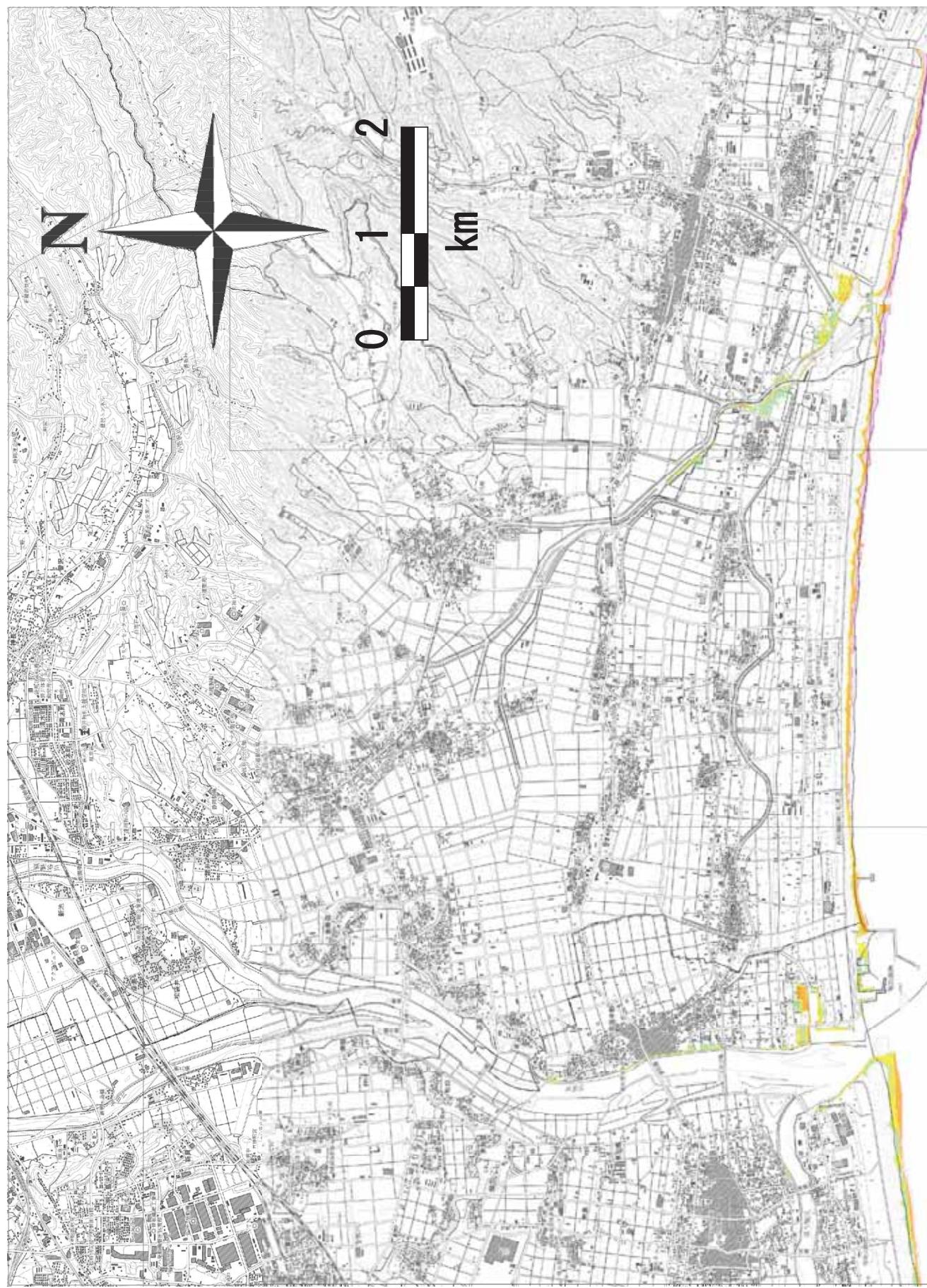
○過去の地震津波においては、本資料で示した浸水域より内陸部まで津波が到達している記録が残っている場所もあり、本資料で浸水しないとした地域においても津波の危険性が全く無いということではありません。

○本資料に示される浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○浸水域や浸水深は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水が深くなったりする場合があります。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。」（承認番号 平24情使、第244-GISMAP31012号）

安政東海型地震 最大浸水深図 (m) 7 袋井市



【留意事項】

- 本資料は、レベル1の津波が次のような条件下において発生したと仮定した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したもののです。
- ・コンクリート製の海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により破壊されるという仮定をしています。
- ・土で築造された海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により高さが元の高さの25%まで沈下し、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。
- ・上記以外の海岸堤防や河川堤防においても、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。

※上記の仮定条件は、今後の防災・減災対策を検討する上で事態を想定しておく必要があるために設定したものであり、実際の地震において堤防が全て壊れたり、津波が乗り越えることによって破壊されるということではありません。今後、県では、堤防の耐震化や液状化対策とともに、仮に津波が乗り越えたとしても粘り強く効果を発揮する構造への改良を進めていきます。

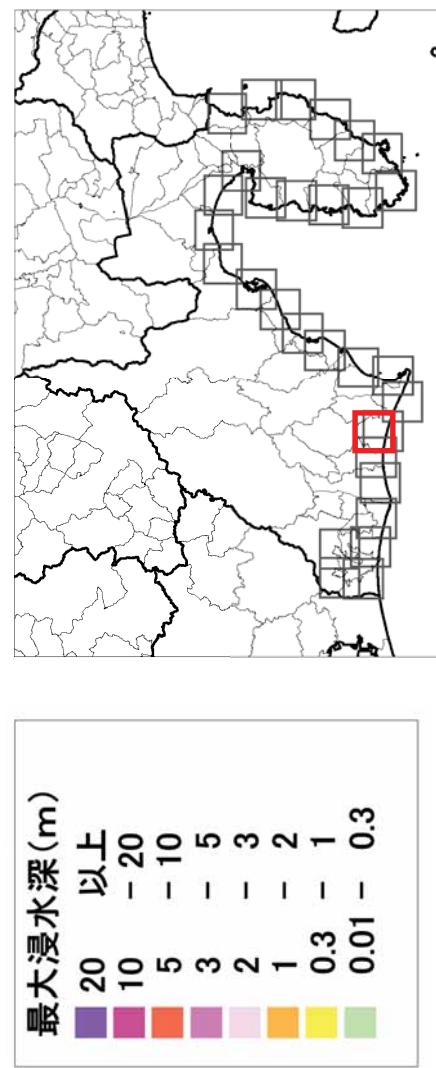
○過去の地震津波においては、本資料で示した浸水域より内陸部まで津波が到達している記録が残っている場所もあり、本資料で浸水しないとした地域においても津波の危険性が全く無いということではありません。

○本資料に示される浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○浸水域や浸水深は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。」（承認番号 平24情使、第244-GISMAP31012号）

安政東海型地震 最大浸水深図 (m) 8 挂川市



【留意事項】

- 本資料は、レベル1の津波が次のような条件下において発生したと仮定した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものであります。
- ・コンクリート製の海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により破壊されるという仮定をしております。
- ・土で築造された海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により高さが元の高さの25%まで沈下し、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしております。
- ・上記以外の海岸堤防や河川堤防においても、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしております。

※上記の仮定条件は、今後の防災・減災対策を検討する上での事態を想定しておく必要がありますので、実際の地震において堤防が全て壊れたり、津波が乗り越えることによって破壊されるとということではありません。今後、県では、堤防の耐震化や液状化対策とともに、仮に津波が乗り越えたとしても粘り強く効果を発揮する構造への改良を進めていきます。

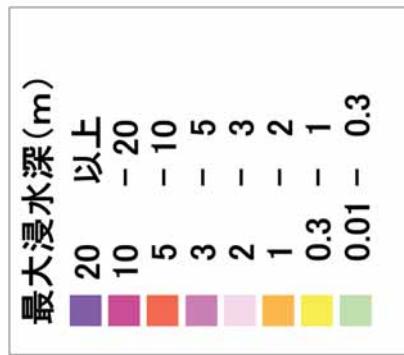
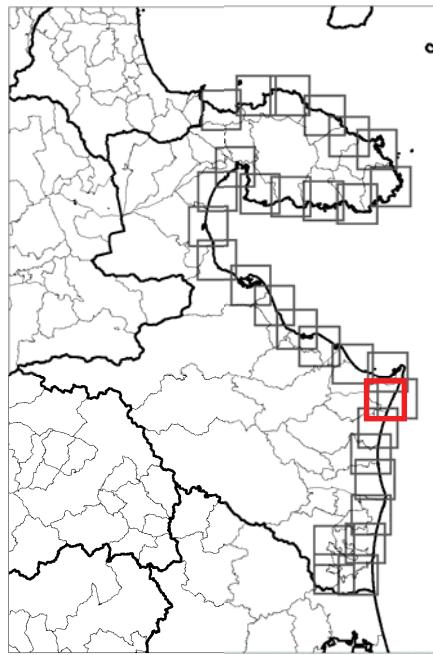
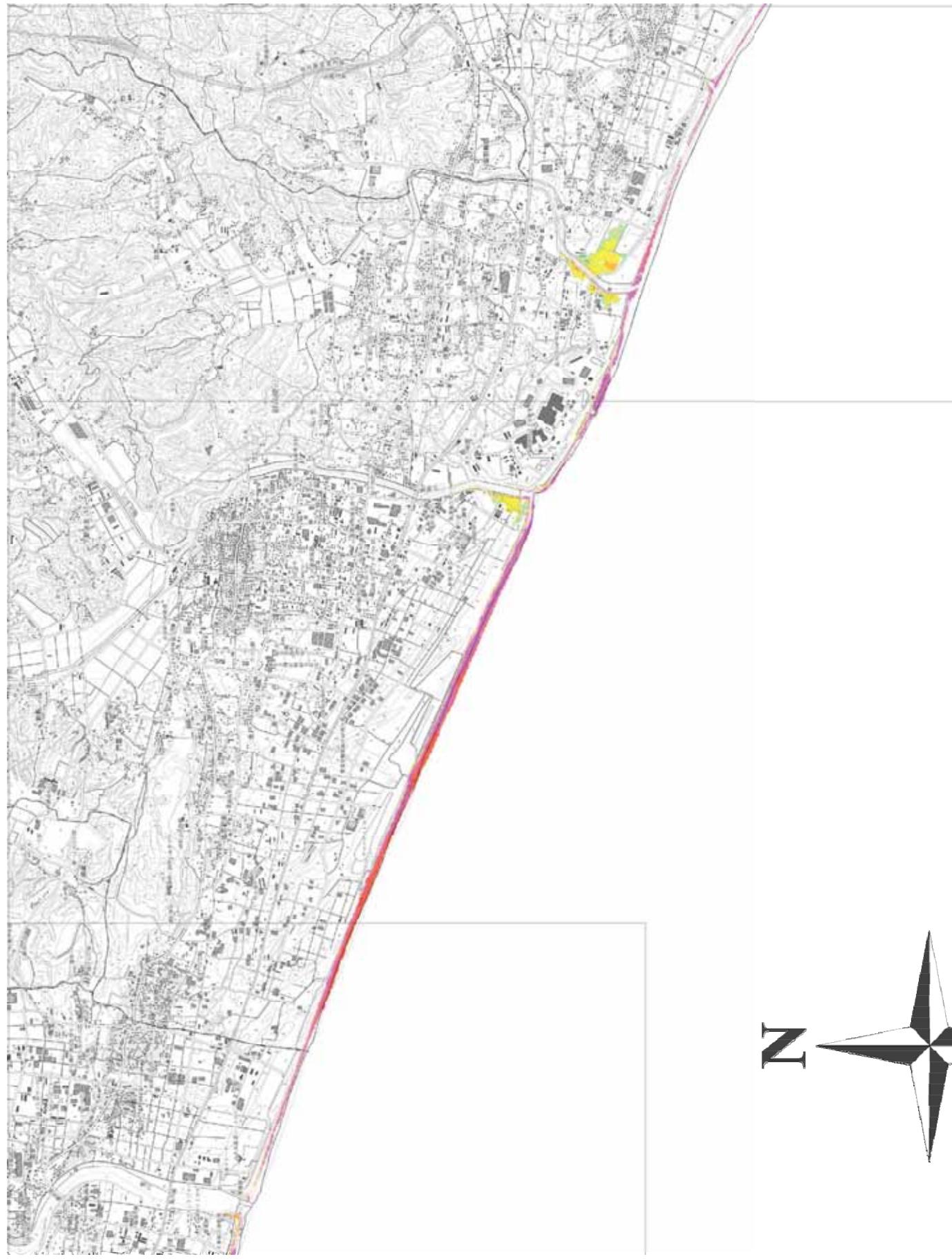
○過去の地震津波においては、本資料で示した浸水域より内陸部まで津波が到達している記録が残っている場所もあり、本資料で浸水しないとされた地域においても津波の危険性が全く無いということではありません。

○本資料に示される浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○浸水域や浸水深は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

「この地図に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。」（承認番号 平24情技 第244-01ISMAP31012号）

安政東海型地震 最大浸水深図 (m) 9 御前崎市



【留意事項】

- 本資料は、レベル1の津波が次のような条件下において発生したと仮定した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- ・コンクリート製の海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により破壊されるという仮定をしています。
- ・土で築造された海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により高さが元の高さの25%まで沈下し、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。
- ・上記以外の海岸堤防や河川堤防においても、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。

※上記の仮定条件は、今後の防災・減災対策を検討する上で事態を想定しておく必要があるために設定したものであり、実際の地震において堤防が全て壊れたり、津波が乗り越えることによって破壊されるということではありません。今後、県では、堤防の耐震化や液状化対策とともに、仮に津波が乗り越えたとしても粘り強く効果を発揮する構造への改良を進めていきます。

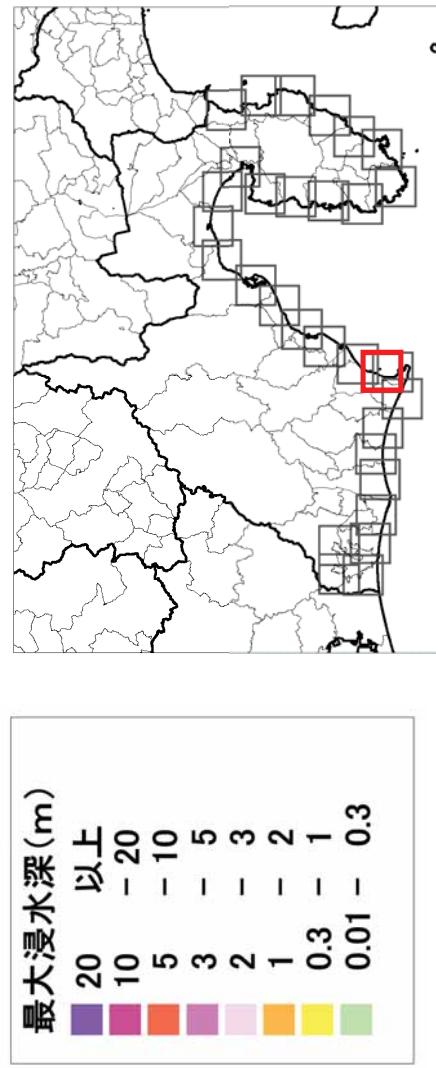
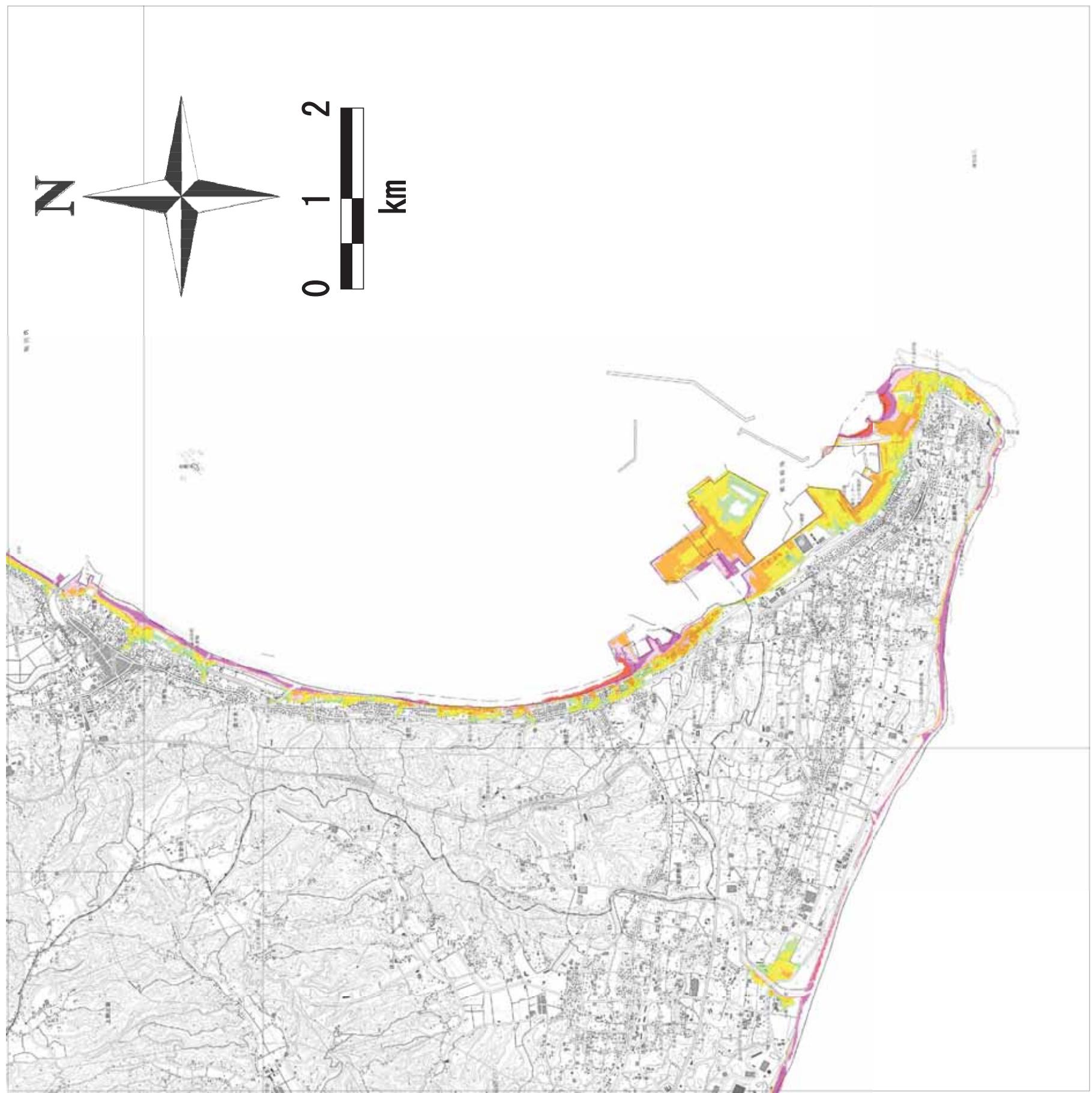
○過去の地震津波においては、本資料で示した浸水域より内陸部まで津波が到達している記録が残っている場所もあり、本資料で浸水しないとした地域においても津波の危険性が全く無いということではありません。

○本資料に示される浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○浸水域や浸水深は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。」（承認番号 平24情使、第244-GISMAP31012号）

安政東海型地震 最大浸水深図 (m) 10 御前崎市・牧之原市



【留意事項】

- 本資料は、レベル1の津波が次のような条件下において発生したと仮定した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したもののです。
- ・コンクリート製の海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により破壊されるという仮定をしています。
- ・土で築造された海岸堤防や河川堤防のうち耐震性の低いものは地震動により高さが元の高さの25%まで沈下し、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。
- ・上記以外の海岸堤防や河川堤防においても、津波が乗り越えたと同時に無くなるという仮定をしています。

※上記の仮定条件は、今後の防災・減災対策を検討する上で事態を想定しておく必要があるために設定したものであり、実際の地震において堤防が全て壊れたり、津波が乗り越えることによって破壊されるということではありません。今後、県では、堤防の耐震化や液状化対策とともに、仮に津波が乗り越えたとしても粘り強く効果を発揮する構造への改良を進めていきます。

- 過去の地震津波においては、本資料で示した浸水域より内陸部まで津波が到達している記録が残っている場所もあり、本資料で浸水しないとした地域においても津波の危険性が全く無いということではありません。
- 本資料に示される浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 浸水域や浸水深は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。